

プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No.05

平成26年4月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 **日本赤十字社** 那須赤十字病院
Japanese Red Cross Society



診療科紹介

当院歯科口腔外科について

登録医紹介

小沼内科胃腸科クリニック

看護師紹介

救急看護認定看護師

部門紹介

リハビリテーション科部

マイタウン・マイホスピタル ミニニュース

新任医師紹介

施設紹介

リハビリ庭園

皆さまのための歯科口腔外科 を目指しております!!

診療科紹介



歯科口腔外科スタッフ

当院歯科口腔外科について

歯科口腔外科部長 宮城徳人

平成26年度は常勤歯科口腔外科歯科医師3名(宮城・井上・杉浦)、歯科衛生士6名(秋元係長以下)、看護師1名の体制で入院・外来診療を運営しており、5階東病棟外科系混合病棟にて当科入院患者さんの周術期管理を行っております。

□ 口腔癌治療も積極的に施行し、他科との連携下に再建手術・術後集中治療管理・放射線治療・補助化学放射線療法などの集学的治療を展開しております。

さらに術前・術後評価としての摂食嚥下造影検査も施行し、周術期管理の嚥下機能獲得にフィードバックしております。また緩和ケア病棟管理による終末期口腔癌緩和ケアも積極的にっております。

その他有病者歯科治療、抜歯、良性疾患(嚢胞や腫瘍)、外傷(軟組織外傷や顎顔面骨折)、炎症(蜂窩織炎や深頸部膿瘍)、インプラントなど多種多様な口腔外科的治療に対応しております。

院内周術期口腔管理としての口腔ケアも歯科衛生士主導の下積極的に取り入れており、院内他科との連携もスムーズに行なっており院内コンセンサス(※)も得られていると思われま。

また歯科医師会・近隣開業医先生と連携し、地域に根ざした歯科口腔外科治療を提供しております。

さらに非常勤医師としては、自治医科大学歯科口腔外科学講座、自治医科大学さいたま医療センター歯科口腔外科、国際医療福祉大学熱海病院歯科口腔外科より派遣いただき、外来診療や手術応援など、密な連携を取りながらきめ細やかな歯科口腔外科的診療を行っております。

今後の目標としては、地域完結型の医療が展開・実践出来るようさらなる努力を積み重ねていく所存です。今後とも当院歯科口腔外科を何卒宜しくお願い申し上げます。

(※)院内コンセンサス：院内の意見の一致、合意。



診察風景

小沼内科胃腸科クリニック

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。
こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている登録医の先生を紹介していきます。
今回は「小沼内科胃腸科クリニック」を紹介します。



小沼一郎院長

小沼内科胃腸科クリニック

対象疾患:内科 胃腸科 小児科
得意分野:消化器疾患(胃・腸・肝臓・膵臓)

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどの様なことですか？

当クリニックは、無床診療所ですので入院が必要となった患者さまは那須赤十字病院などで入院・治療していただいています。私の専門分野は消化器内科なので、早期のうちに胃癌や大腸癌をみつけ、病院の外科の先生に紹介し、入院手術をしてもらうのが最も多いケースであり、またそれの良い結果がでることを期待しています。他にも、救急で受診された方や診察して緊急入院が必要になった患者さまの入院・治療をお願いしています。患者さまが危機を脱して良くなったなら逆紹介していただき、わたしのクリニックで必要なお薬などを処方いたします。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

栃木県医師会常任理事の役員をしており、役職上ほとんどその仕事に費やしています。具体的には日本医師会の会議に出席したり、勉強のため法律や経済学者などの講演を聞きにしています。大変ですが、楽しんでやっています。
趣味のゴルフや旅行ができていないのが少し残念ですが…(笑)。

最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします

栃木県、特に県北の患者さまは我慢強い方が多く、よほど悪くならないとお医者さんにかからないように感じます。全国的に栃木県の医療費は少ない方で、とくに那須塩原市の医療費は少なくなっています。地域性、県民性だとは思いますが、少しのことではお医者さんにはかからない。「コンビニ受診」が問題視される現在、節度をもった良い受診のしかたかもしれないが、早めに受診すればもっと軽くすんだのに、手遅れにならなかったのに、命を落とさなくてもすんだのに、悲しい想いをするケースも少なくありません。

「おかしいな？」と感じたらぜひ私たち近くの開業医に相談、受診してください。

私は愛情をもって地域の患者さまを診療させていただいております。私はこの地で生まれ、この地で育ち、この地で医師として働いています。来院される患者さまは知り合いだったり、子どものお世話になった方々も多く、患者さまに対する想いは特別なものがあります。この地域で医療に携わる先生方には私と同じように患者さまに愛情をもって診療していただきたいと思っています。

基本情報



小沼内科胃腸科クリニック

- 院長
小沼 一郎(こぬま いちろう)
- 住所
那須塩原市西朝日町6-42
- 電話
0287-37-5353
- 診療科目
内科 胃腸科 小児科
- 休診日
祝祭日・日曜日・水曜日

また、病気を治すには、信頼関係が大切です。患者さまも我々を信頼していただきたい。(この医者と治らないから別の医者へ)と次々に医者を変えるドクターショッピングはお勧めできません。一人の医者へ信頼し、受診していくことも私は大切なことだと思っています。



救急センター看護師(右から2番目が救急認定看護師の釜井さん)

**みなさんに寄り添う救急医療が提供できるように
頑張っています！**
救急看護認定看護師 釜井 梢

救急看護認定看護師って…？

救急領域で5年間勤務したのちに、救急看護の専門的な知識や熟練した看護技術を身に付けるため研修学校で更なる学びを深めた看護師です。そしてその学びを基に、救急医療や災害医療の現場において役割を發揮しています。栃木県では救命救急センターに配属された救急看護認定看護師が6名います。県北部では私1名ですが、県内の救急看護認定看護師と連携を図りながら院内・外で、患者さんとそのご家族により良い看護が提供できるよう活動しています。その活動内容を一部紹介いたします。

患者さんの安全を守るトリアージ(※)！

救急外来に受診される患者さんは、軽症から重症、緊急で医療が必要な方まで様々です。また多くの方は、身体的な苦痛や精神的な不安を持たれているのでないでしょうか。そのような現場で、私たち看護師がいち早く患者さんとそのご家族の下に足を運び、重症または緊急性が高い患者さんを優先して医師の診察が受けられるよう調整を行い、早期に看護ケアが提供できるよう、平成24年4月から救急外来を受診する患者さん全員にトリアージ(※)を導入しました。そのため診察が順不同とな

ることがありますが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

力を合わせて病院外でも救急医療をしています！

当院の救命救急センターの医師と看護師は、ドクターカーで救急の現場に向き、地域の消防や栃木県ドクターヘリと連携を図りながら活動しています。時が過ぎるのは早いもので、ドクターカーが導入されてから4年が経過しました。平成26年3月には、ドクターカーも新しくなります。今後も日々の活動を振り返り、自己研鑽を惜しむことなく、地域の皆さんに最良の救急医療が提供できるよう努めていきます。

(※)トリアージ 負傷者を重傷度・緊急性などによって分類し、治療や搬送の優先順位を決めること。



近隣の消防士が那須赤十字病院に集まり、検証会を行います。



リハビリテーション科部



いきいき介護リハビリ教室のようす



リハビリ室

リハビリテーション科部

リハビリテーション科部 課長 池澤 里香

当院のリハビリテーション科部は、吉田 祐文部長をはじめとして理学療法士(PT) 14名、作業療法士(OT) 8名、言語聴覚士(ST) 4名の計27名のスタッフで構成されています。

理学療法士について

病気の発症または怪我の受傷直後から可能な限りの早期離床を目指して、筋力の低下や関節が硬くなるのを最小限に留め、「起きる」「立ち上がる」「歩く」などの基本的な動作の獲得を支援します。また周術期の呼吸リハビリや循環器疾患の心臓リハビリなど個々の状態に合わせたプログラムで病状の回復をお手伝いさせていただいています。

作業療法士について

更衣、整容、トイレ動作といった日常生活動作(activities of daily living: ADL)の自立を支援します。なかでも様々な動きのある「手」の訓練は調理動作などの実践に即した活動を用いて練習します。また、音楽やゲーム、体操といったレクリエーションを通し、変化の少ない入院生活の中に楽しみや、やすらぎを提供できるよう努めています。

言語聴覚士について

言語・記憶・思考・行為などの認知機能やコミュニケーション機能に障害のある患者さん、また食べる・飲み込むこと(嚥下機能)に障害のある患者さんに対して、発症早期から評価・訓練を行い、機能の改善・維持を目指して患者さんとご家族をサポートしています。

サポート体制

各部門間で連携を図り、患者さんの機能回復を支援し、退院もしくは転院までサポートさせて頂いています。退院される患者さんやご家族は退院後の生活に不安が多いことと思います。その際には、退院前にご自宅に訪問させて頂き、ご自宅の環境に合わせた動作の確認や介護用品の提案、手摺りや段差解消等の住宅改修のポイントなどをアドバイスさせて頂き、安心してご自宅に退院できるようサポートいたします。

また、患者さんやそのご家族、地域の皆さまを対象に、認知症や転倒予防、介護術などをテーマとした「いきいき介護リハビリ教室」を年に数回開催しています。ご家族の介護やご自身の身体のことでお悩みの方は是非お越しください。

皆さまがより充実した生活が送れますよう、スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

1月 子ども達が元気に鬼退治

院内託児所ポケット /1月30日(木)

1年の無病息災を願い、託児所では子ども達が元気に鬼退治を行いました。この行事は日本の風習と季節感に触れることを目的に毎年実施しています。

大泣きする子もいましたが、鬼に扮する先生達を元気に退治し大興奮のようすでした。



鬼退治

2月 緩和ケア講演会

緩和ケアの本質とは /2月21日(金)

栃木県がん診療連携拠点指定病院の役割として実施し、137名の参加がありました。

講師は昭和大学医学部教育推進室の「高宮有介」先生でした。私たちの心に寄りそご講演で心の琴線に届く内容でした。



緩和ケア講演会

3月 院内防火訓練実施

7階東病棟 /3月4日(火)

新病院になり2回目になる防火訓練が整形外科の病棟で実施されました。

職員が自衛消防組織(※1)により行動し、模擬患者も配置され、真剣な面持ちで訓練を行いました。



院内防火訓練

第17回食品まつりの開催

入場者約300名 /3月15日(土)

メタボリックシンドロームをテーマに開催されました。当院の栄養士・薬剤師・看護師による相談コーナーや、体脂肪・骨密度の測定コーナー、お子さま向けのゲームコーナーも設けました。

今年度は「与一くん」も登場しました。患者さんをはじめ地域の皆さまに興味を持っていただき、生活習慣病についての知識と対策を身につけていただけたと思います。



第17回食品まつり

新ドクターカーの導入

地域の力強い戦力 /3月28日(金)

那須赤十字病院は平成21年10月よりドクターカー(※2)の活動を始め、平成26年3月末までの出動件数は635件となりました。

救急車を使用し活動していましたが、新たに専用ドクターカーを導入することになりました。更なる救命率の向上に期待です。



ドクターカー

4月 新たな力が加わり新体制に

辞令交付式 /4月1日(火)

今年度は新入職員81名が加わりました。患者さん・地域の皆さまからの様々なニーズに応えられるようこれから頑張ってください！

どうぞよろしくお願いいたします。



辞令交付式

(※1) 自衛消防組織 消防法に基づいて設置される人的組織。
(※2) ドクターカー 医師・看護師が同乗し、搬送途上へ出動する救急車。

新任医師紹介

「わたしたちが皆さんの健康をサポートします！」
4月から那須赤十字病院で働く先生を一部紹介いたします。



内科 第三内科部長
福島 史哉



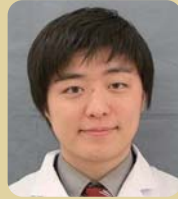
内科 循環器内科副部長
轟 正勝



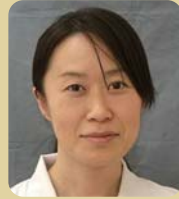
内科 古川 歩生



外科 前田 祐助



整形外科 大野聡一郎



形成外科 形成外科部長
谷 裕美子



形成外科 木内 智喜



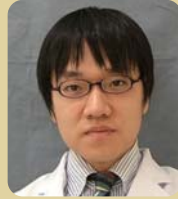
形成外科 鈴木 彩馨



泌尿器科 飯ヶ谷重来



呼吸器外科 第一呼吸器外科部長
田村 元彦



産婦人科 大谷 利光



産婦人科 佐伯 直彦



産婦人科 鴨澤 千尋



麻酔科 住田 直樹



救急集中治療部 寛住 肇



放射線科 藤塚 進司



超音波診断部 超音波診断部長
高田 悦雄



初期研修医 小崎 真希

施設紹介



リハビリ農園
育てる喜び

リハビリ庭園
四季の景色

病院敷地東側に位置する「リハビリ庭園」をご存じでしょうか？
春にはツツジ・ナデシコをはじめとした花々が芽吹き、夏には日差しを防いでくれる東屋でほっとひと息、秋にはケヤキ・カツラといった紅葉を楽しみ、冬には白銀に染まった雪景色を見ることが出来ます。
どなたでも、一休みしていただけます。



リハビリ庭園の奥、職員託児所の手前にひっそりとある小さな農園ですが、リハビリテーション科職員の汗と情熱が染み込んだ農園です。託児所の子どもたちも面おもみしてくれています。
今後、とうもろこし・キャベツ・玉ねぎなどが収穫され、食材はリハビリの治療を兼ねて調理実習する予定です。
庭園を散策される際は是非お立ち寄りください。

献血に行こう!

「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い生命を救います～

日時：4月30日(水) 10:00～16:00(12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場所：那須赤十字病院

問合せ：那須赤十字病院 社会課 ☎0287-23-1122(代)

400ml献血のご協力をお願いします。

インターンシップのご案内

平成27年4月に就職する、看護師・薬剤師・放射線技師の方を対象にインターンシップを行っています。

看護師…2014年4月30日、7月23日、7月30日、8月6日、8月13日、8月20日、8月27日、9月3日、9月10日 (いずれも水曜日)

薬剤師…2014年8月21(木)～22(金)

放射線技師…2014年 7月～8月 開催日未定
詳細が決まり次第、ホームページに掲載いたします。

いきいき介護リハビリ教室

2014年5月17日(土) 10:00～11:00 認知症予防

2014年8月 2日(土) 10:00～11:00 転倒予防

参加費無料、申し込みも不要です。

問合せ：那須赤十字病院 リハビリテーション

赤十字ふれあいデーのご案内

開催日：平成26年5月17日(土) 9:00～13:00

会場：那須赤十字病院

編集後記

新年度がはじまりました。気持ちも新たに、何か新しいことにチャレンジするのもいいかもしれません。

当院では地域のみなさま向けに公開講座や各種教室が開かれています。有益な情報満載です。わたしたち広報メンバーもどんどん情報発信していきますので、ぜひご参加ください。

経営企画課 倭文 雪江

本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に赤十字ハローキティクリアファイルをプレゼントいたします。

氏名、住所、年齢、ご意見、ご感想を明記のうえ、ご応募ください。

●応募先

〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 広報係

●応募締切り 2014年7月1日(火)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



平成26年度社員募集について

日本赤十字社では、日本赤十字社の創立の月にあたる5月を中心に、毎年**赤十字社員増強運動**を全国一斉に行います。

赤十字社員増強運動とは、一人でも多くの方々に日本赤十字社の「社員」に加入していただき、赤十字の事業に参加していただくための運動で、皆様からご協力いただく資金(社費)によって、日本赤十字社は国の内外における災害救護活動を始め、血液事業や国際救援活動、社会福祉事業などの数々の人道的活動を円滑に行うことができます。ご協力をお願いします。

○運動の期間 平成26年5月1日から5月31日まで
(地域によって6月、7月になる場合もあります)

お問い合わせ 那須赤十字病院 社会課

日本赤十字社の社員とは

赤十字の目的や事業を理解いただき、毎年500円以上の資金(社費)を納めていただく個人、法人を指し、赤十字の基盤となっております。「社員」は人種、国籍、信条、性別などによって差別されることなく、だれでも「社員」になることができます。

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につとめます。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.5

発行日 2014年4月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷